学校だより 令和2年度 第 7



やさわ

南相馬市立八沢小学校

令和 2年 9月11日発行

校長 高橋

2学期が始まって3週間が経ちました。暑い日が続く中、コロナウイルス感染や熱中症の予防に気をつけながら、子どもたちは学習に運動に精一杯頑張っています。1学期できなかった学校行事も、2学期は実施に向けて方法を検討しているところです。子どもたちにはしっかりとめあてを持ち、一つ一つの活動に最後まで粘り強く取り組んでほしいと思っています。お家の方々には、子どもたちの健康管理や原まして言葉掛けなお願いいたします。

健康管理や励ましの言葉掛けをお願いいたします。 2学期も、教職員一同、同一歩調で子どもたちに関わっていきたいと思います。 保護者の皆様、地域の方々の変わらぬご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

8・9月の教育活動

8/25(火), 2学期の身体計測を実 施しました。どの子も大きく成長し ており、中には身長が3cm以上伸び た子も見受けられました。



9/4(金), 5年生は「朝食を見直 す」学習をしました。給食センター より栄養教諭を招いて、バランスの よい食事について学習しました。

9/1(火)から、スクール・ サポート・スタッフの方が勤 務しています。子どもたちが 安全に生活できるよう、消毒 作業や給食の準備・片付け, 学習プリントの印刷等をして くださっています。

8/27(木), 1年生と4年 生が耳鼻科検診を行いまし た。今年度は新型コロナウ イルスの影響で例年より遅

い実施となりました。前の 人との間隔を取り、3密を 避けて行いました。

9/8(火), 1年生はJAの方を講 師に招いて、「米粉だんごづくり」 を行いました。手際よく上手に美 味しく作ることができました。

 $9/9(水)\sim10(木)$, 3 年生は, 自転車の運転の仕 方を理解し、安全に走行で きるか確認を行いました。 職場体験の中学生にも、手 伝ってもらいました。

9/7(月)に、幼稚園と合同で津波を想定し <mark>た避難訓練を行いました。5・</mark>6年生は園 児の手を引きながら高台に避難しました。



9/9(水)に, 鹿島中 学校の2年生8名が、 職場体験に来ました。 授業や休み時間に子ど もたちとたくさん触れ 合ってくれました。今 回の体験を今後の学習 に生かしてほしいと思 います。

授業の挑戦





本校の主な研究
主体的・対話的で深い学びの実現
~ 伝えて つなげて 深めよう ~

4年 図画工作科の実践より 「つなぐんぐん」

曲山先生は、「材料のつなぎ方や組み合わせ方を工夫して、 自分のイメージした作品を表現できる」を目標に授業を組み立 てました。授業の前半部分で、願いに合った表現ができるよう に助言したり、見通しをもたせる時間を確保したりしました。 子どもたちは、身近にある新聞紙を棒状にし、自分のイメージ にそって立体的に作品を作ることができました。

現職教育校内研修会 ~モデル授業事前検討会~

9/29に実施するモデル授業「2年算数 かけ算」の事前検討会を行いました。今回は、教育委員会指導主事の先生を講師にお招きして、ご指導いただきました。山際先生の立てた指導計画や学習の流れについて、「南相馬市の授業スタイル」をもとに、全職員で意見を出し合い検討しました。教員一人一人が、指導力を高めるため意欲的に研修に参加しました。

体育専門アドバイザーの先生が来校しました!

8月31日(月),体育専門アドバイザーの先生が来校し、それぞれの運動を行うときのポイントをアドバイスしてくれました。子どもたちは、元気に楽しく活動していました。

2年生は、鉄棒運動に繋がる逆 さ体験や肋木にぶら下がって体を 支える運動を行いました。

3年生は、ワンバウンドで相手に返す「プレルボール」を行い、パスの出し方を練習しました。









6年生は、ソフトボールを行いました。キャッチボールをしたり作戦を立てたり、楽しく活動しました。

5年生は、ハードルの学習でした。ミニハードルを使ってまたぐ感覚をつかんだり、ふり揚げ足の確認をしたりしました。

八沢の光 この夏休みに、国からの補助金と毎年行われている資源物回収の益金を活用して、普通教室、 児童用トイレ、図書室、保健室等の「抗菌・抗ウィルス・抗臭コーティング」を施工しました。 これは、オクレンジャーでもお知らせしたとおり、人体に影響はなく、今までも全国の消防署や警察、病院等で使 われているもので安心して生活できるものになっています。今まで行ってきた資源回収の益金ということで、保護 者・地域の皆様のご協力の下、実現できたかと思いますと、とても有難い気持ちでいっぱいになります。今後予測 不可能な事態が起こるやも知れない中、最後はやはり地域での助け合いが大切だと感じています。地域とのつなが りについて、ますます子ども達に考えさせていきたいと思います。(文責:T)